



社会的処方勉強会！

7月から希望者を集め「社会的処方を考える会」をおよそ月1回のペースで開催しています。今回は参加してくれている今泉君（5年）、石井さん（4年）、島田さん（4年）、野々山君（4年）の4人に、活動の紹介をしてもらいました。

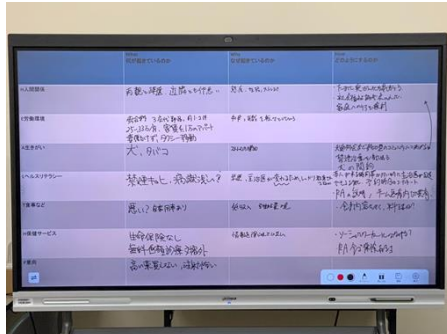
今回、阿部先生のお声がけで始まった「社会的処方を考える会」の紹介をしたいと思います。弊会では、社会的処方についての勉強会を通じて、全人的医療を提供できる医師を目指して活動をしている。第1回では社会的処方とは何かについての意見交換をした。第2・3回ではソーシャルバイタルサインを用いた症例検討を行った。第4回では社会的処方に関連する文献の発表会を行った。以下に、各メンバーが活動を通じて得た感想・意見を紹介します。

今泉 勇人 Virchowリンパ節で知られるRudolf Virchow氏は、晩年に政治家としてプロイセンの公衆衛生政策に尽力した功績がある。氏は「医療は政治である。医師は単に個々の病気を研究するのみならず、貧者の弁護人として社会問題の解決に力を注ぐべきである」と言っている。この言葉は、医師が病気の治療に留まらず、患者の背景やニーズに対する理解を深め、真の治療とは何かに注目する必要があることを示唆している。この観点から、社会的処方を学ぶことは、我々が医師になる上で欠かせない取り組みではないかと強く感じた。

石井 舞佳 バイタルサインとは、体温、血圧、脈拍、呼吸数などの身体の生命活動や健康状態を示す指標であり、患者の疾患の治療を行う上で重要です。社会的処方においては、人間関係や生きがい、本人の意向などをまとめた社会的バイタルサインという概念があり、社会的支援を行う上で重要な要素となります。勉強会に参加し始めたばかりの私にとってこの概念は理解しやすいものであり、さまざまな人が社会的処方を学ぶきっかけとして有用なのではないかと考えます。今後も活動に参加し自身の学びを深めるとともに、健康への関心が高まりつつある日本で社会的処方の概念が広まることを願います。

島田 優果 社会的処方という言葉の意味を理解していても、実際に症例を通して自分で実践してみると難しさを実感します。社会的処方の実践には、法律や政策、地域の取り組み、職業、労働問題など多方面の知識が必要になります。この勉強会を通して、自分の知識の浅さに毎回気付かされ、他のメンバーからも多くの良い刺激をもらっています。その刺激が、自分を高めるきっかけとなり、学びを深める後押しになります。今後もこの勉強会に参加し、いずれ地域の人たちと共に活動できればと思います。

野々山 陽仁 “人のつながり”が希薄になった世の中になっていると感じる。これが生む“孤独”も社会の与える病気なのではと自分の経験も含めて考えていた事です。そんな中“社会的処方”を学ぶ事で得られた事はこの社会的処方の考えが人生の幸せ、喜びの道しるべ、羅針盤となり得るのではという考えです。社会的処方とは英国で始まった考えなので日本では広がり発展途上ですが、まずは公衆衛生のこのグループから社会的処方の考えが広まっていけばいいと思っています。最後に、東照宮の3猿にかけたわけではなく、“目配り、気配り、心配り”が社会的処方には重要ではないかと個人的に思うのでこの言葉で締めさせていただきます。



ソーシャルバイタルサインを用いた症例検討

今後も社会的処方の勉強を続けると共に、学会への参加や地域に出て社会的処方の実践をする活動をしていきたいと考えている。この記事を通して、社会的処方について皆さんの関心が高まれば、メンバー一同望外の喜びである。

社会的処方とは：

- ▶ 地域社会の活動や機会を提供することで、患者の健康や生活の質の向上を目指す取り組み
- ▶ 患者の社会的背景や生活環境に焦点を当てて、患者の社会的緊急課題を評価する枠組み

<参考資料>

「実践SDH診断」



次回の勉強会では輪読会も予定しています。



「社会的処方白書」一般財団法人オレンジクロス

https://www.orangecross.or.jp/project/socialprescribing/pdf/socialprescribing_2020_01.pdf

<学会情報>

第13回日本プライマリ・ケア連合学会 関東甲信越ブロック地方会

日時：2024年12月1日（日）

会場：ライトキューブ宇都宮

*学生は参加費無料です。

学会サイト（参加登録もここ）

<https://jpca-kkse-13th.com/>

社会的処方の実践を学べる学生セッションもあります！メンバーの今泉君も企画メンバーとして活躍していますよ。

勉強会の内容は、毎回メンバー同士で話し合って決定し、それぞれが準備したものを持ち寄りながらメンバー主導で進めています。どうやったら社会が健康になるのか、社会的処方の考え方をヒントにみんながいきいきとディスカッションする様子は大変頼もしいです。社会的処方に興味がある人は、いつでも気軽に声をかけて下さい！



編集後記： やっと暑さが和らいで秋らしさを感じるようになりましたね。今年もあと3か月になりました。秋はなかったように飛んでいきそうです。みなさん短い秋をそれぞれに楽しんでください。

